

設備機器等から発生する低周波音の実態と対策

【テーマ・講師】

1. 低周波音・超低周波音とは
2. 低周波音によって発生する問題
3. 低周波音の測定法
4. 低周波音はどこで知覚するか
5. 低周波音による生理的反応
6. 低周波音規制の国際的動向
7. 低周波音問題対応の手引書と参照値
8. 住宅における設備機器等の低周波音
9. 質疑応答

放送大学山梨学習センター所長・山梨大学名誉教授 工学博士 **山田 伸志** 氏

◇ 日 時：平成24年4月20日（金） 13:00～16:30

◇ 会 場：きゅりあん・講習室 東京都品川区東大井5-18-1（会場地図はお送りします）

Tel03-5479-4100 JR（京浜東北線）・東急・りんかい線 大井町駅下車徒歩1分

＜開催にあたって＞

低周波音の問題が、マスコミで大きく取り上げられています。超低周波音は聞こえなくても被害が出るなどという話がマスコミ、インターネットで流されていますが、それは本当ではありません。10Hzの超低周波音でもレベルが高ければ人間は耳で知覚できます。耳の周りの圧迫される感じで知覚されます。耳のほとんど聞こえない聾の方は、低周波音はよほどレベルが高くなければ知覚することはありません。聾の方でも耳の聴覚神経以外は普通の方と同じですから、通常のレベルでは、普通の方はやはり耳で聞いていることが分かります。

低周波音によって発生する問題を科学的に解明し、その発生メカニズムを知ることによって有効な対策を立てることができ、無駄な努力をしなくてすむでしょう。

主催：情報開発 (<http://www.joho-kk.co.jp>)

設備機器等から発生する低周波音の実態と対策

講師：放送大学山梨学習センター所長・山梨大学名誉教授 工学博士 山田伸志 氏

1. 低周波音・超低周波音とは
2. 低周波音によって発生する問題
建具等のがたつき閾値
最小感覚閾値曲線平均値と個人差
苦情者の最小感覚閾値
3. 低周波音の測定法
測定場所
風雑音の除去
4. 低周波音はどこで知覚するか
耳の間こえない聾者の低周波音感覚閾値
5. 低周波音による生理的反応
呼吸数の変化
心拍数の変化
6. 低周波音規制の国際的動向
台湾の規制基準
各国の推奨基準
7. 低周波音問題対応の手引書と参照値
8. 住宅における設備機器等の低周波音
音と振動の関係、固体伝搬音の防止
設備機器の設置位置と設置方法
9. 質疑応答

13:00~16:30(14:15~14:30/休憩)

申込先・申込方法 (FAX・MAILにてお申し込みください)
 (株)情報開発 〒144-0045 東京都大田区南六郷 3-21-9-101
 FAX 03(3733)8236 E-mail: info@joho-kk.co.jp *お問い合わせ先 TEL 03(3737)5765

参加費 (テキスト・消費税含む)
 1名につき、36,000円。2名以上の場合、1名につき 32,000円。
 *原則として開催日前日までにお支払い下さい。都合があれば後日で結構ですが予定日をお知らせ下さい。*2名以上の取り扱いは同一申込書での
 申込みに限ります。*参加費の払い戻しはいたしません、都合の悪い場合は代理の方をお願いします。*席順は申込み順となります。

支払方法 (銀行振込でお願いします) 口座名:(株)情報開発
 *銀行振込 三井住友銀行京橋支店 6561610(当座) 三井住友銀行東京中央支店 2790772(普通) みずほ銀行京橋支店 1237183(普通)
 三菱東京UFJ銀行八重洲通支店 4197084(普通)

(FAXの場合は切り取らずにご送信ください)

参加申込書<低周波音の実態と対策>

NO.

会社名		所在地 〒	TEL
			FAX
ご氏名	ご所属・役職		<input type="checkbox"/> 参加費 (消費税含む) 36,000円 32,000円×()名
備考	E-mail ()		<input type="checkbox"/> 請求書 (要・不要) <申込先>情報開発 FAX03(3733)8236